

保存版

本誌50号までの掲載目録

③

この目録は、検索可能なPDFデータとして本誌のホームページからダウンロード可能です。

■シリーズ編(続き)

石橋を訪ねる

- ① 橋詰橋(第9号)
 - ② 小崎眼鏡橋(第10号)
 - ③ 重盤岩眼鏡橋(第11号)
 - ④ 浜眼鏡橋・新村眼鏡橋(第12号)
 - ⑤ 中尾眼鏡橋・金山眼鏡橋 上村和代(第14号)
 - ⑥ 内野眼鏡橋・寺前眼鏡橋・中村眼鏡橋 上村和代(第15号)
 - ⑦ 石水寺門前の「眼鏡橋」(第19号)
 - ⑧ 境橋 上村和代(23号)
 - ⑨ 橋谷橋(第24号)
 - ⑩ 大正橋(第26号)
- 特別編 白髪山天然橋(第26号)

- ⑪ 鑑内橋(第27号)
 - 特別編「霊台橋」(第28号)
 - ⑫ 水俣の石橋 上村和代(第29号)
 - ⑬ 新免眼鏡橋(第31号)
 - ⑭ 赤松眼鏡橋(第33号)
- 特別編 雄亀滝橋(第34号)
- 特別編 二俣橋(第45号)

地域情報

- ・ ツクールバス(第8号)
- ・ 一度は行ってみよう光徳寺(第8号)
- ・ 鉄漿附岩(第8号)
- ・ 一度は行ってみよう今泉地区(第9号)
- ・ 今泉薪窃盗事件 上村雄一(第9号)
- ・ 山神祭(第9号)

・ アオコ発生(第17号)

資料発掘

- ・ 「筏師」仕事内容とその後(第5号)
- ・ インギヤエリの瀬(第6号)
- ・ イギリス海軍中將の球磨川くだり(第8号)
- ・ 「球磨川下り」定期便(第8号)
- ・ 坂本の舟頭 都城へいく。(第9号)
- ・ 舟止め事件(第11号)
- ・ 球磨村 はまぐり石(第12号)
- ・ 昭和11年の鮎の人工孵化作業(第15号)
- ・ 昭和32年の鮎などの外部からの搬入(第15号)
- ・ 江戸時代の事件簿 百姓たちの集団的訴え(第15号)
- ・ 『人境考』による八代の魚(第31号)
- ・ 塩の話(第31号)

・ 細川領における川舟頭・水主の身分と責任について(第33号)

- ・ 藩主の隠居と大目付(第34号)
- ・ 「大・八代」をつくる(第36号)
- ・ 崇光寺論①(第37号)
- ・ 昭和2年の上下松求麻村(第40号)
- ・ 千載列青史(第47号)
- ・ アマビエ様(第49号)

球磨村の魅力 松野翔吾

- ① 紹介したいふるさとのお宝 大蔵山と段ノ峠(第12号)
- ② 郷土芸能―住吉谷「奴やっこ」(第13号)
- ③ 球磨川と海路駅の思い出(第14号)

伝統行事

- ・ 柴立姫神社例大祭、まもなく開催(第12号)
- ・ 「柴立姫神社」補論(第12・13号)

- ① 2016.4 月号
- ② 2016.5 月号
- ③ 2016.6 月号
- ④ 2016.7 月号
- ⑤ 2016.8 月号
- ⑥ 2016.9 月号
- ⑦ 2016.10 月号
- ⑧ 2016.11 月号
- ⑨ 2016.12 月号
- ⑩ 2017.1 月号
- ⑪ 2017.2 月号
- ⑫ 2017.3 月号
- ⑬ 2017.4 月号
- ⑭ 2017.5 月号
- ⑮ 2017.6 月号
- ⑯ 2017.7 月号
- ⑰ 2017.8 月号
- ⑱ 2017.9 月号
- ⑲ 2017.10 月号
- ⑳ 2017.11 月号
- ㉑ 2017.12 月号
- ㉒ 2018.1 月号
- ㉓ 2018.2 月号
- ㉔ 2018.3 月号
- ㉕ 2018.4 月号
- ㉖ 2018.5 月号
- ㉗ 2018.6 月号
- ㉘ 2018.7 月号
- ㉙ 2018.8 月号
- ㉚ 2018.9 月号
- ㉛ 2018.10 月号
- ㉜ 2018.11 月号
- ㉝ 2018.12 月号
- ㉞ 2019.1 月号
- ㉟ 2019.2 月号
- ㊱ 2019.3 月号
- ㊲ 2019.4 月号
- ㊳ 2019.5 月号
- ㊴ 2019.6 月号
- ㊵ 2019.7 月号
- ㊶ 2019.8 月号
- ㊷ 2019.9 月号
- ㊸ 2019.10 月号
- ㊹ 2019.11 月号
- ㊺ 2019.12 月号
- ㊻ 2020.1 月号
- ㊼ 2020.2 月号
- ㊽ 2020.3 月号
- ㊾ 2020.4 月号
- ㊿ 2020.5 月号

熊野座神社の例大祭(第・13号)

・百済来地藏堂祭り(第14号)

・芦北町岩屋川内地区の七夕綱(第30号)

・八代・芦北地方の七夕綱(第42号)

三十三観音

・相良三十三観音巡礼「廻観音」(第24号)

・相良三十三観音巡礼「廻観音」再論(第31号)

・196年ぶりの修復 廻観音(第43号)

・宮原観音堂 秋元めい(第43号)

災害

〈熊本地震〉山頭火の宿、修復する(第16号)

〈川の基礎知識〉本流より支流でバックウォーター(第16号)

〈川の基礎知識〉冠水とバック・ウォーター(第28号)

シリーズ「坂本の製紙工場小史」

①四人の男(第20号)

②工場地(第21号)

③坂本工場の前提条件(第38号)

坂本工場関係資料① 人物略歴(第38号)

④坂本工場の周辺事情(第39号)

⑤工場建設時の坂本の人口分布(第40号)

⑥戦争と工場(第41号)

⑧大谷高寛(第45号)

坂本の製紙工場小史補論「資本の実現」(第49号)

地域探訪

①八代市坂本町藤本地区(第26号)

②八代市坂本町松崎地区(第27号)

③八代市坂本町大門地区(第29号)

④八代市坂本町横様地区(第33号)

夏目友人帳のふるさと巡り

①天狗橋・田町菅原天満宮(第22号)

②瀬戸石駅・雨宮神社(第23号)

③大畑駅(第29号)

④晴山バス停(第33号)

川辺川ダム問題を取り上げた本 森明香

①熊本日日新聞編集局編『山が笑う村が沈む―ダムに揺れる五木の人々―』(第33号)

②中里喜昭著『百姓の川―球磨・川辺 ダムつて、何だ』(第37号)

③川辺川ダム問題ブックレット編集委員

『川辺川ダムはいらん!』(第41号)

④清流球磨川・川辺川を未来に手渡す流域郡市民の会編『脱「基本高水治水」研究誌』(第46号)

さよなら母校 多良木高の思い出(第36号)

・平和・勤労・進取(桑原満璃)

・選ぶことの重大さ(坂本ケイ)

・多良木高校という名のきみへ(宮原信晃)

平成最後のイベント(第37号)

・第4回坂本町・菜の花フェスタ

・人吉市で観光列車サミット

・柴立姫神社例大祭

・彫刻家と日本画家の「二人展」

彼岸と山頭火(第42号)

・山頭火と仏教 岐部明廣

・秋時観音堂 上村和代

・土屋観音について 前原直美

・『山頭火句集』を読んで 興野康也

・山頭火の縁で出会った人 坂本福治

うた・歌・唄

・「上り口説」井上トシ(第44号)

・「ハーヴェストの頃」あるぼ(第44号)

①	2016.4	月
②	2016.5	月
③	2016.6	月
④	2016.7	月
⑤	2016.8	月
⑥	2016.9	月
⑦	2016.10	月
⑧	2016.11	月
⑨	2016.12	月
⑩	2017.1	月
⑪	2017.2	月
⑫	2017.3	月
⑬	2017.4	月
⑭	2017.5	月
⑮	2017.6	月
⑯	2017.7	月
⑰	2017.8	月
⑱	2017.9	月
⑲	2017.10	月
⑳	2017.11	月
㉑	2017.12	月
㉒	2018.1	月
㉓	2018.2	月
㉔	2018.3	月
㉕	2018.4	月
㉖	2018.5	月
㉗	2018.6	月
㉘	2018.7	月
㉙	2018.8	月
㉚	2018.9	月
㉛	2018.10	月
㉜	2018.11	月
㉝	2018.12	月
㉞	2019.1	月
㉟	2019.2	月
㊱	2019.3	月
㊲	2019.4	月
㊳	2019.5	月
㊴	2019.6	月
㊵	2019.7	月
㊶	2019.8	月
㊷	2019.9	月
㊸	2019.10	月
㊹	2019.11	月
㊺	2019.12	月
㊻	2020.1	月
㊼	2020.2	月
㊽	2020.3	月
㊾	2020.4	月
㊿	2020.5	月

■人物評伝

- ・「高田渡の世界」 鮎川學(第44号)
- ・「ドニー・フリッツ」 川邊敬子(第44号)
- ・「春よ来い」 はつぴいえんど 長船早打之(第45号)

一枚の古写真から 益田啓三

- ① 相良頼基・相良頼紹(第49号)
- ② 相良中子・貞子・鴻子(第50号)

現代社会の基礎用語

- 1、会計年度任用職員(第40号)
- 2、「やるごと創世」と「地方創世」(第40号)
- 3、配偶者居住権(第40号)
- 4、樹木伐取権(第41号)
- 5、地方交付税(第41号)
- 6、里道(第43号)
- 7、いじめ防止対策推進法(第43号)

城跡探訪記

- ① 上土城跡(第41号)
- ② 岡城跡(第43号)

ごあいさつ 珈琲店ミック 出水 晃

大前提があった 前山光則

麦島写真はなぜ人の心を魅了するのか 石原 浩

■伊勢戸明

特集 ジャーナリスト伊勢戸明①(第30号)

- ・9月9日創刊の意味
- ・伊勢戸明の仕事
- ・球磨川と短歌を愛した伊勢戸さん 宮原信晃
- ・『週刊ひとよし』と私の二〇年 木崎康弘
- ・「週刊ひとよし」から「くまがわ春秋」へ 東慶治郎
- ・伊勢戸さんの思い出 立山勝徳
- ・生きた雑誌・生きたネットワーク 興野康也
- ・この二十年の変化 桑原史佳

1	2016.4	月
2	2016.5	月
3	2016.6	月
4	2016.7	月
5	2016.8	月
6	2016.9	月
7	2016.10	月
8	2016.11	月
9	2016.12	月
10	2017.1	月
11	2017.2	月
12	2017.3	月
13	2017.4	月
14	2017.5	月
15	2017.6	月
16	2017.7	月
17	2017.8	月
18	2017.9	月
19	2017.10	月
20	2017.11	月
21	2017.12	月
22	2018.1	月
23	2018.2	月
24	2018.3	月
25	2018.4	月
26	2018.5	月
27	2018.6	月
28	2018.7	月
29	2018.8	月
30	2018.9	月
31	2018.10	月
32	2018.11	月
33	2018.12	月
34	2019.1	月
35	2019.2	月
36	2019.3	月
37	2019.4	月
38	2019.5	月
39	2019.6	月
40	2019.7	月
41	2019.8	月
42	2019.9	月
43	2019.10	月
44	2019.11	月
45	2019.12	月
46	2020.1	月
47	2020.2	月
48	2020.3	月
49	2020.4	月
50	2020.5	月

■渋谷敦

- 故渋谷敦先生、熊本県近代文化功労者に選ばれた(第44号)
- 「渋谷先生、最高です」 前田一洋(第44号)
 - 「渋谷敦先生受賞によせて」 益田啓三(第44号)
 - 一井正典研究と渋谷敦先生との出会い 松本晉一(第45号)
 - 渋谷敦著『なば山騒動異聞』を読む(第45号)
 - 熊本県近代文化功労者、渋谷敦のこと 木崎康弘
 - グローカル的の地域文化研究の実践者—(第46号)

■麦島勝

- 追悼・麦島勝さん 仕事と課題(第27号)
- ・あの時“を撮り続けた麦島勝氏のこと 松本晉一
 - ・静かなる芸術写真 石原 浩
 - ・麦島さんのこと画家 坂本福治
 - ・懐かしき二景 木崎康弘
- 追悼特集 麦島勝の世界(第28号)
- ・残したい写真、写したい写真 麦島 勝
 - ・木材を運ぶ匠たち 麦島 勝
- 麦島勝追悼展(第31号)

追悼・瀬戸致行先生

- 人吉おおくま座の会会員からのメッセージ(第45号)
- 南アフリカ共和国(第45号)
- 先生のおかげです 椎葉直美(第45号)
- 我が友の旅立ちを悼む 富永和信(第47号)
- 瀬戸先生との出会い 村口和彦(第47号)
- 瀬戸致行会長の功績 尾方保之(第47号)

追悼・三原竹二さん(第49号)

- ・人吉労音とともに 淵上公典
- ・文化運動の理論的リーダー 上田精一

追悼 故・板井優弁護士を偲ぶ

- ・一人の千歩より千人の二歩 緒方雅子(第48号)
- ・水俣、川辺―板井優さんと私 緒方俊一郎(第48号)
- ・追悼 板井優弁護士 土肥勲嗣(第49号)

- ・板井先生から教わったこと 森明香(第49号)
- ・板井優弁護士の思い出 東慶治郎(第49号)

故・村上和男さんを偲ぶ(第47号)

- ・鬼拳と酔舞 吉若文教
- ・残されたメッセージ 浦田佳代子
- ・へその緒 編集部

前山光則さん第61回熊日文学賞を受賞(第48号)

- ・巨大な壁『球磨川物語』 澤宮優
- ・前山光則外聞記 楠原正元
- ・父とコアサ 前山史
- ・麦島さんと前山さん 石原浩
- ・前山光則著『この指に生まれ』を読む 上村雄一

澤宮優の本を読む

- ①『バッティングピッチャー』(第49号)
- ②『考古学エッセイ』の唄が聞こえる』木崎康弘(第50号)
- 『戦火に散った巨人軍最強の捕手』橋本徳一郎(第50号)
- 『イップス』興野康也(第50号)

木崎考古学と遺跡

- ・木崎考古学を知るための手引き書(第17号)
- ①八代郡氷川町〜芦北町佐敷(第17号)
- ②球磨村高沢〜球磨郡錦町(第19号)
- ③城ヶ峰遺跡(第21号)
- ④田川内一号古墳(第23号)
- ⑤京ヶ峰横穴墓群(第25号)
- ・番外編「御陵」調査と「国造の墓」調査(第25号)
- ⑥有佐大塚貝塚(第28号)

■執筆者一覧(アイウエオ順・敬称略)

- 石原 浩 ②⑦・②⑨・③①・④⑧
- 磯田 毅 ①①・①⑩・①⑬
- いわさき楊子 ①①・①⑤⑩
- 上杉芳野 ②②・現在
- 上田精一 いもご短歌会①①・現在
- 上田廸子 いもご短歌会①①・現在
- 上村和代 ①①・①⑥・①⑧・①⑩・①⑫・①⑭・①⑯・①⑰・①⑱・①⑲・①⑳・①㉑・①㉒・①㉓・①㉔・①㉕・①㉖・①㉗・①㉘・①㉙・①㉚・①㉛・①㉜・①㉝・①㉞・①㉟・①㊱・①㊲・①㊳・①㊴・①㊵・①㊶・①㊷・①㊸・①㊹・①㊺・①㊻・①㊼・①㊽・①㊾・①㊿
- 上村美鈴 ①⑨・①⑳・①㉑・①㉒・①㉓・①㉔・①㉕・①㉖・①㉗・①㉘・①㉙・①㉚・①㉛・①㉜・①㉝・①㉞・①㉟・①㊱・①㊲・①㊳・①㊴・①㊵・①㊶・①㊷・①㊸・①㊹・①㊺・①㊻・①㊼・①㊽・①㊾・①㊿

上村雄一 ①①・現在

牛嶋將克 ①①・④④

氏川 平 ③③・⑥⑥

内田順子 ①①・⑦⑦・③⑧

内田次一 ⑪⑪・⑮⑮

浦川春加「医食同源」⑤⑤・⑳⑳

大草知子 ③①・③②・③⑥・④①・④⑧

大倉隆二 ③①・③④・③⑤

大平和明 ③①・⑤⑩

岡村小夜子 ④⑥

尾方保之 ①①・②②・④④・⑦⑦・⑲⑲・⑳⑳・㉑㉑・㉒㉒・㉓㉓・㉔㉔・㉕㉕・㉖㉖・㉗㉗・㉘㉘・㉙㉙・㉚㉚・㉛㉛・㉜㉜・㉝㉝・㉞㉞・㉟㉟・㊱㊱・㊲㊲・㊳㊳・㊴㊴・㊵㊵・㊶㊶・㊷㊷・㊸㊸・㊹㊹・㊺㊺・㊻㊻・㊼㊼・㊽㊽・㊾㊾・㊿㊿

緒方雅子 ①①・⑲⑲・④⑧

興野康也 ①①・④④・お休みどころ通信③③・現在

小野武己 砂時計―思い出るままに ③②・現在

萼 弘伸 ④⑦

片岡和紘 ①①・④④・⑩⑩・⑫⑫・⑲⑲

桑原史佳 ⑥⑥・⑧⑧・⑲⑲・⑳⑳・㉑㉑・㉒㉒・㉓㉓・㉔㉔・㉕㉕・㉖㉖・㉗㉗・㉘㉘・㉙㉙・㉚㉚・㉛㉛・㉜㉜・㉝㉝・㉞㉞・㉟㉟・㊱㊱・㊲㊲・㊳㊳・㊴㊴・㊵㊵・㊶㊶・㊷㊷・㊸㊸・㊹㊹・㊺㊺・㊻㊻・㊼㊼・㊽㊽・㊾㊾・㊿㊿

黒羽幸司 ⑤⑤

本村登代美 ③③

楠原正元 ③⑧・④⑦・④⑧

① 2016.4.月 ① 2016.5.月 ② 2016.6.月 ③ 2016.7.月 ④ 2016.8.月 ⑤ 2016.9.月 ⑥ 2016.10.月 ⑦ 2016.11.月 ⑧ 2016.12.月 ⑨ 2017.1.月 ⑩ 2017.2.月 ⑪ 2017.3.月 ⑫ 2017.4.月 ⑬ 2017.5.月 ⑭ 2017.6.月 ⑮ 2017.7.月 ⑯ 2017.8.月 ⑰ 2017.9.月 ⑱ 2017.10.月 ⑲ 2017.11.月 ⑳ 2017.12.月 ㉑ 2018.1.月 ㉒ 2018.2.月 ㉓ 2018.3.月 ㉔ 2018.4.月 ㉕ 2018.5.月 ㉖ 2018.6.月 ㉗ 2018.7.月 ㉘ 2018.8.月 ㉙ 2018.9.月 ㉚ 2018.10.月 ㉛ 2018.11.月 ㉜ 2018.12.月 ㉝ 2019.1.月 ㉞ 2019.2.月 ㉟ 2019.3.月 ㊱ 2019.4.月 ㊲ 2019.5.月 ㊳ 2019.6.月 ㊴ 2019.7.月 ㊵ 2019.8.月 ㊶ 2019.9.月 ㊷ 2019.10.月 ㊸ 2019.11.月 ㊹ 2019.12.月 ㊺ 2020.1.月 ㊻ 2020.2.月 ㊼ 2020.3.月 ㊽ 2020.4.月 ㊾ 2020.5.月

坂本ケイ いもご短歌会①～現在
 坂本福治 記憶の落ち穂①～現在
 坂本桃子 限界集落便り①・⑧・⑬・⑯・⑲・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 迫田重光 ④
 佐無田護 ③④
 椎葉直美 ①・⑲・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 城来松男 ⑧・⑨
 白城松男 マイ・文庫本⑤～⑪
 須藤久仁恵 ③・⑬
 瀬戸致行 ④・⑪・⑱・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 淋 俊二 ③
 武井京子 ③～⑪
 立迫なぎさ ⑦
 鶴上寛治 ①～③・⑥・⑩・⑭・⑰・⑱・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 鶴崎信二 ⑥・⑧・⑮
 つる詳子 不知火海の自然と生活①～⑦、⑪・⑱・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 土肥勲嗣 ③⑥・③⑧・④③・④④・④⑤・④⑥・④⑦・④⑧・④⑨・④⑩・④⑪・④⑫・④⑬・④⑭・④⑮・④⑯・④⑰・④⑱・④⑲・④⑳・④㉑・④㉒・④㉓・④㉔・④㉕・④㉖・④㉗・④㉘・④㉙・④㉚・④㉛・④㉜・④㉝・④㉞・④㉟・④㊱・④㊲・④㊳・④㊴・④㊵・④㊶・④㊷・④㊸・④㊹・④㊺・④㊻・④㊼・④㊽・④㊾・④㊿
 富永和信 ⑫～⑲・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 ④⑥・愚感随想(④⑨～④⑯)

鳥飼 博 「定吉が行く」①～⑱
 永田満徳 ①・②・④・⑤・⑦・⑩・⑫・⑬・⑮・⑯・⑲・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 永江友二 ③⑥
 中川和代 ⑩
 中島まゆみ ⑦
 中原康子 鶴鶴短歌会 ①～⑱
 中村美喜子 鶴鶴短歌会 ①～現在
 那須智治 ⑫～⑱・④①・④②・④③・④④・④⑤・④⑥・④⑦・④⑧・④⑨・④⑩・④⑪・④⑫・④⑬・④⑭・④⑮・④⑯・④⑰・④⑱・④⑲・④⑳・④㉑・④㉒・④㉓・④㉔・④㉕・④㉖・④㉗・④㉘・④㉙・④㉚・④㉛・④㉜・④㉝・④㉞・④㉟・④㊱・④㊲・④㊳・④㊴・④㊵・④㊶・④㊷・④㊸・④㊹・④㊺・④㊻・④㊼・④㊽・④㊾・④㊿
 西 洋子 ⑦
 西 武喜 鶴鶴短歌会 ①～現在
 野崎育代 ⑦
 橋本徳一郎 ⑱・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 橋詰了一 鶴鶴短歌会 ①～⑱
 馬場光俊 ⑬～⑱
 原田正史 「倉敷便り」⑨～現在
 東慶治郎 ⑬・⑱・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 平岡優平 ⑨～⑱
 福井 弘 ③・⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 福田晃市 ④⑦
 福田昇八 ⑲

鮎田一美 ⑲
 堀田英雄 鶴鶴短歌会 ①～現在
 前川清一 ④②
 前田一洋 「方言を味わう」①～現在
 前田康江 ③⑥
 前山光則 ③①・③⑤・④②
 牧野里美 ④①
 益田啓三 ②・⑨・⑬・⑱・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 松本晉一 球磨川の駅・ものがたり①～⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 松舟博満 遊び図鑑②～⑧、おとわつとあすび⑫～現在
 松本佳久 ⑧・⑬・⑳
 溝口隼平 ⑱
 溝下昌美 ⑨・⑮・⑱・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 三原竹二 いもご短歌会①～⑱
 三原光代 鶴鶴短歌会 ①～現在
 宮川しのぶ いもご短歌会①～⑱

宮川 統 ⑱～⑳・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 宮崎勇市 ⑲・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 宮原征子 いもご短歌会①～⑱
 宮原信晃 くまがわの神さん仏さん②～現在
 村上ますえ ⑤・⑦
 村木正則 那須良輔と北御門二郎③④～④⑩
 元村順宣 ①・⑥
 森 明香 ④・⑦・㉑・㉒・㉓・㉔・㉕・㉖・㉗・㉘・㉙・㉚・㉛・㉜・㉝・㉞・㉟・㊱・㊲・㊳・㊴・㊵・㊶・㊷・㊸・㊹・㊺・㊻・㊼・㊽・㊾・㊿
 守永和久 鶴鶴短歌会 ①～現在
 柳原三男 いもご短歌会①～現在
 山口啓二 小説・相良清兵衛⑲～⑶①
 山下完二 ⑨
 山本隆英 ①～⑧・⑳
 吉田諭祐 ④⑥

(以上、50号まで)

① 2016.4.月
 ② 2016.5.月
 ③ 2016.6.月
 ④ 2016.7.月
 ⑤ 2016.8.月
 ⑥ 2016.9.月
 ⑦ 2016.10.月
 ⑧ 2016.11.月
 ⑨ 2016.12.月
 ⑩ 2017.1.月
 ⑪ 2017.2.月
 ⑫ 2017.3.月
 ⑬ 2017.4.月
 ⑭ 2017.5.月
 ⑮ 2017.6.月
 ⑯ 2017.7.月
 ⑰ 2017.8.月
 ⑱ 2017.9.月
 ⑲ 2017.10.月
 ⑳ 2017.11.月
 ㉑ 2017.12.月
 ㉒ 2018.1.月
 ㉓ 2018.2.月
 ㉔ 2018.3.月
 ㉕ 2018.4.月
 ㉖ 2018.5.月
 ㉗ 2018.6.月
 ㉘ 2018.7.月
 ㉙ 2018.8.月
 ㉚ 2018.9.月
 ㉛ 2018.10.月
 ㉜ 2018.11.月
 ㉝ 2018.12.月
 ㉞ 2019.1.月
 ㉟ 2019.2.月
 ㊱ 2019.3.月
 ㊲ 2019.4.月
 ㊳ 2019.5.月
 ㊴ 2019.6.月
 ㊵ 2019.7.月
 ㊶ 2019.8.月
 ㊷ 2019.9.月
 ㊸ 2019.10.月
 ㊹ 2019.11.月
 ㊺ 2019.12.月
 ㊻ 2020.1.月
 ㊼ 2020.2.月
 ㊽ 2020.3.月
 ㊾ 2020.4.月
 ㊿ 2020.5.月